

生じやすいトラブルの対処に関するポイントを実践的に解説！  
大学と企業の共同研究、企業間の共同研究等事例を交えて解説！！

1名分料金で  
2人目無料

# 事例を交えて学ぶ共同研究契約・共同出願契約等 に関するポイントと実践的対処方法【LIVE・アーカイブ】 ～AIを研究・開発テーマとする場合の知財条項の考え方を含めて～

- ◆日時：【LIVE配信】2025年5月14日(水) 13:00～16:00  
【アーカイブ配信】2025年5月19日(月)～23日(金)
- ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
  - ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
  - ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ☆講師

弁護士法人内田・鮫島法律事務所 弁護士・獣医師 永島 太郎 氏

### ☆講演の趣旨

今回の講演では、大学・企業間、また、企業間の共同研究・共同開発について、近年、特に話題のAIを研究・開発テーマとする場合を含め、関連する各契約、及び、生じやすいトラブルの対処に関するポイント・対処方法について、実践的な視点から、共同出願段階まで視野に入れてご説明します。図やアニメーションを多用したスライドにより、イメージで理解しやすい内容となっております。具体的には、まず、大学と企業間の共同研究を例に、どのような視点で契約交渉に臨むべきなのか、また、問題になりやすい契約条項のポイントとその対処方法などについてご説明します。この中では、特に、最も問題となりやすい知財条項にスポットをあて、そもそも知財とは何なのかといったところから説明させていただきます。さらに、その具体的一例として、AIがテーマになった場合の知財条項の思考方法についてもご説明させていただきますので、知財条項に関する理解をさらに深めることが期待できる内容となっております。次に、企業間の共同研究・共同開発を取り上げます。企業間の場合、各企業のパワーバランスなどを背景に、大学・企業間の共同研究のケースと比較して、一方的な内容の条項を要求されることも、しばしば経験するところですので、ここでは、主に、こういった場合の対処方法などについてご説明します。三つ目は、大学・企業間の共同出願契約にスポットをあてます。ここでは、企業の利益に直結する知財の実施料のワーディングのポイントなどをご説明します。最後に、付随的な論点として、共同研究の成果を論文化する場合に知っておくべき著作権の概要についてご説明します。

### ☆プログラム ※多少、内容が変更になる可能性があります。

1. 大学との共同研究契約について考える
  - (1) 事案
  - (2) 共同研究契約、共同出願契約、ライセンス契約の関係とは？
  - (3) 大学との契約交渉における4つのポイント
  - (4) 共同研究契約の主要項目と主な論点とは？
  - (5) 知財条項
    - ア) そもそも知的財産、知的財産権とは何なのか？
    - イ) 特許と発明者の関係とは？
    - ウ) 誰が発明者になるのか？
    - エ) 裁判所が発明者ではない者として挙げる3つの例
    - オ) 知財条項の視点
    - カ) 知財条項の現実的な落としどころとは？
    - キ) 大学の教員と直接契約を結ぶのはどうか？
    - ク) AIを研究・開発テーマとする場合の知財条項の考え方
  - (6) 公表に関する条項
  - (7) 提供物品に関する条項
2. 企業間での共同研究・共同開発契約について考える
  - (1) 事案
  - (2) 共同研究・共同開発を開始する前にやっておくべき事項はないか？
  - (3) 相手方企業が強欲に知財を要求してきた場合はどうすればよいか？
  - (4) 相手方企業が他社との協業を禁止してきた場合はどうすればよいか？
  - (5) 協議委員会を設置する場合の注意点とは？
3. 大学と企業との共同出願契約
  - (1) 発明者の特定と保証はどのような内容にするべきか？
  - (2) 大学に支払う実施料に関して注意すべき契約ワーディング上のポイントとは？
  - (3) 共同出願契約の解除に関する問題点とは？
4. その他
  - ・共同研究の成果を論文公表する際に知っておくべき著作権に関する基本的事項とは？

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら ([https://zoom.us/download#client\\_4meeting](https://zoom.us/download#client_4meeting)) からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
  - 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら (<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
  - 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
- ・セミナー資料は開催前日までににお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

## 『共同研究』セミナー申込書(■LIVE配信/■アーカイブ配信)

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。  
弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>